

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 3 月 18 日	
所属部局・職	アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻・博士課程 3 回生
氏名	横塚 彩

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)
京都大学野生動物研究センター熊本サンクチュアリ
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)
動物福祉実習
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)
平成 29 年 3 月 15 日 ~ 平成 29 年 3 月 17 日 ( 3 日間)
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学野生動物研究センター
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<b>【日程】</b> 3/15 サンクチュアリ内見学/エンリッチメント装置制作/給餌見学 3/16 チンパンジーへのエンリッチメント観察/タッチパネル観察/給餌見学 3/17 ボノボへのエンリッチメント観察
今回の実習では、エンリッチメントの制作、観察を中心に実習をおこなった。 実習と一緒に参加した動物園飼育員の方からアドバイスをいただきながら、短い制作時間でも チンパンジーが安全に時間をかけて楽しめるエンリッチメントアイテムを考えた。
今回作成したエンリッチメントアイテム 1. Hay Peanuts (チンパンジー) ブロックの藁に穴を開けてピーナツクリームと落花生を詰めたもの 2. Sanfranspecial (チンパンジー/ボノボ) 発泡スチロールにジュースをいれて落花生を浮かせたもの。檻の外の手が届かないところに設置して枝等をつかってジュースや落花生をとる
<b>結果</b> チンパンジー チンパンジー舎に2つの Hay Peanuts と、Sanfranspecial 1つを檻の外に設置。 採食にかかった時間 Hay peanuts ①32分12秒②33分27秒 Sanfranspecial 55分41秒

## 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

ボノボ

ボノボ舎の檻の外に Sanfranspecial を設置。

28分14秒 (30分中)

手の届くところに設置してしまったため、道具使用はほとんどみられず。

チンパンジー舎ではエンリッチメントの観察をドローンで撮影していたが、チンパンジーの投げた枝がドローンに直撃し、破損するというハプニングもあった。

(<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/kumasan/en/news/1703/Chimpanzee-Bringing-Down-a-Drone.html>)

チンパンジー舎での Sanfranspecial は、特定のチンパンジーしか興味を示さず、1-3頭が交代に枝を使い落花生をとっていた。

ボノボ舎でのエンリッチメント実験は、三頭のボノボが興味を示したが、採食していたのは、一頭が独占していた。また、緊張状態のときにみられるジージーラビングも観察された。



左) 中央) Hey Peanuts の完成及び制作過程 右) Sanfranspecial のジュースを飲むチンパンジー  
左下) 破壊されたドローン (右) と通常のドローン 中央下) ボノボでの Sanfranspecial 実施風景

### 6. その他 (特記事項など)

熊本サンクチュアリー関係のみなさま、お忙しいところありがとうございました。